

[illegible]

對印爲替賣却

松崎博士危篤に際し從三位に陞
叙せらるゝ東京特選

同七年十月迄一箇年間に於ける
繩吹簞の製造高及び大正七年に
開て見たさうだが局長は不斯不離
つまり許しさうにも昌渡六ヶしと
うことも云つてゐたさうな話だ

てゐるのである。當局が簡易な公
證珠り場の許可にさへ永い間迷
つてゐるが、知れぬ私設株式交
本課税に關する第一書の著者ロ
ーレンは、百萬磅の富には六割

一申込證據金 一株二付金貳圓也
一第一回拂込金 大正八年十月廿七日壹株二付金五圓

大正八年十一月十三日

店

1945年八月二日

[illegible]

店

1945年八月二日

藥店 是·在 西門外

This image shows a horizontal section of a traditional Chinese street scene. It features several storefronts with signs in Chinese characters. From left to right, the visible signs include "藥店" (Pharmacy), "是·在" (Is at), and "西門外" (Outside West Gate). The style is characteristic of early 20th-century photography or film stills.

大坂市築山元町橋
本館 高橋盛天堂藥局
支店 東京 ● 上海
● 到る處の藥店にて販賣す

田中丸治平
入院隨意 院長 醫學士田中丸治平
副院長 醫師 師上野和夫
普通病室隔離病室の設備あり 電話 八八五番



京城日報

綿絲輸出制限

綿絲の輸出は米穀の輸出と同様に、戦時下の特殊な事情に基き、厳格な制限を受ける。政府は綿絲の輸出数量を厳密に管理し、戦時生産の必要に資する物資の確保を図る。綿絲は戦時工業に不可欠な原料であり、その輸出の制限は戦時経済の安定に重要な役割を果たす。

開墾事業盛況

朝鮮に相次ぎ実施される開墾事業は、戦時体制の下で盛況を極めており、政府は戦時生産の拡大と戦時物資の確保を目的として、大規模な開墾事業を推進している。各地で開墾団が組織され、荒れ地の開墾と農産物の生産が積極的に行われている。

生別列別

生別列別は、戦時体制の下で実施される重要な行政手続であり、戦時生産の効率化と戦時物資の配分を目的として行われる。生別列別は、戦時生産の効率化と戦時物資の配分を目的として行われる。

神仙爐

神仙爐は、戦時体制の下で実施される重要な行政手続であり、戦時生産の効率化と戦時物資の配分を目的として行われる。神仙爐は、戦時生産の効率化と戦時物資の配分を目的として行われる。

モンテリール

モンテリールは、戦時体制の下で実施される重要な行政手続であり、戦時生産の効率化と戦時物資の配分を目的として行われる。モンテリールは、戦時生産の効率化と戦時物資の配分を目的として行われる。

御名工合 良き靴 山本龍之助 靴店 井上角五郎 靴店

早起 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

早起 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

早起 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

早起 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

早起 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

早起 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

米國生産額

關西 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

關西 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

關西 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

關西 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

關西 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

關西 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

關西 各種帽子原料 大阪高麗橋東詰

富善製藥株式會社募集式集

名利併得の 文明的事業

設立の趣旨

事業の基礎

株主の特典

公募の理由

募集の要項

募集の要項

富善製藥株式會社募集式集

富善製藥株式會社募集式集

富善製藥株式會社募集式集

富善製藥株式會社募集式集

富善製藥株式會社募集式集

富善製藥株式會社募集式集

富善製藥株式會社募集式集



野戦電話が早速 應用された

美しい園員達に
本社婦人見學團は斯うして
て楽しい一日を過した

兵營各所を見學
してから歸還した

野戦電話の應用は、本社の婦人見學團が、昨日（二十）日、本社に於いて、野戦電話の應用を、早速行つた。この野戦電話は、本社に於いて、初めて應用された。この野戦電話は、本社に於いて、初めて應用された。この野戦電話は、本社に於いて、初めて應用された。



宗演老師 哀悼式

スガモガの
代用品

千原の
百貫の

最大因を
爲す

完全なる
花代用品

宗演老師の哀悼式は、昨日（二十）日、本社に於いて、行つた。この哀悼式は、本社に於いて、初めて行つた。この哀悼式は、本社に於いて、初めて行つた。

壯絶なる空中戦 西軍の總攻撃開始

陸軍大演習觀戰記

十一日（十四）日の演習は、西軍の總攻撃開始を、壮絶なる空中戦で、行つた。この空中戦は、西軍の總攻撃開始を、壮絶なる空中戦で、行つた。この空中戦は、西軍の總攻撃開始を、壮絶なる空中戦で、行つた。



巡查服 配給を終る

一日千貫
手不足の道

話談から
能率低下

巡查服の配給は、昨日（二十）日、本社に於いて、行つた。この配給は、本社に於いて、初めて行つた。この配給は、本社に於いて、初めて行つた。

寫眞の説明

寫眞の説明は、本社に於いて、行つた。この説明は、本社に於いて、初めて行つた。この説明は、本社に於いて、初めて行つた。

尺八や

尺八やの演奏は、本社に於いて、行つた。この演奏は、本社に於いて、初めて行つた。この演奏は、本社に於いて、初めて行つた。

湯香五氣症

湯香五氣症の治療は、本社に於いて、行つた。この治療は、本社に於いて、初めて行つた。この治療は、本社に於いて、初めて行つた。

不敵な強盗
飯を食つて
悠々引揚ぐ

大増徴案
朝鮮青年會

運動風
下關の陸軍大會

電話開通 壹八四六番

電話開通の情報は、本社に於いて、行つた。この情報は、本社に於いて、初めて行つた。この情報は、本社に於いて、初めて行つた。

大正粉工業株式會社

大正粉工業株式會社の情報は、本社に於いて、行つた。この情報は、本社に於いて、初めて行つた。この情報は、本社に於いて、初めて行つた。

朝鮮石粉株式會社

朝鮮石粉株式會社の情報は、本社に於いて、行つた。この情報は、本社に於いて、初めて行つた。この情報は、本社に於いて、初めて行つた。

東京案内

東京案内の情報は、本社に於いて、行つた。この情報は、本社に於いて、初めて行つた。この情報は、本社に於いて、初めて行つた。

女子集金人募集

女子集金人の募集は、本社に於いて、行つた。この募集は、本社に於いて、初めて行つた。この募集は、本社に於いて、初めて行つた。

女子集金人募集

女子集金人の募集は、本社に於いて、行つた。この募集は、本社に於いて、初めて行つた。この募集は、本社に於いて、初めて行つた。

二四 江兄小蔭

A black and white illustration of a man and a woman in traditional Japanese attire. The man is seated on a low stool, leaning forward, while the woman stands behind him, her hands near his. They are in a room with a dark screen on the left and a potted plant on the right.

「……自動車の番頭でも何處へ
ゐて、それでも云つて呉れ
る。それで」

「好いのでしたか……」

「ふむ……それが十二月の
日の夜ぢやな……十二月の
一日……年の押し詰まつて深
二時、あの邊をお父さん
一人で」

「先生、お話し下さいまし
如何にして七年の暮が……
越し難いので御在まして、
郡ヶ丘に上りましたのです
何方へ参りまして、思は
し、お金の都合が出来まし
で……其後、失敬して歸き
途中で御在しました」

「お父さんは吾輩と通つて
を呑まなかつたから、酔つ
る様なやつたらうが、酔つ
いた時は、考へく歩く
であつた精神にヌキ間もあ
つて、その足の下へ金貨を入
金を走り下すやうに、無沙

の書式を解して居るのが多いで
マヤカ其歳まで無茶な事はせん
ぢやないやう、まだに其如き者は
分らんすか」

「分りません！……如何しても分
かりませんのです」

「二階、それは何時で……何
處廻つた郵便車でしたか」

「昨年の十一月二十日の夜！……
一時半頃に居りました。親
町から富貴町の、あの捕屋社
の裏門までの大通りが御在ませ
う」

「うむ、うむ、あの阪ばかりあ
る……」

「あの、番頭さんは大宮町の間の
驛邊にゐてゐるす處で……」

「おう彼方ではア……」

「略監にも當時一寸出ましたの
ですが……」

「それは氣が著かんやつた……
新聞を讀みながら多いのではな
い」

られない。

新龍山一角風西へ入る
 新龍山齒科醫院
 東東京齒科醫學士 廣瀬文質
 東京紙上俳句會

藤々夜衣車空くや梅屋
 月更けし潮へ響き磯石を歩
 福山や黄蘗菜を摘み
 大津若狭を小夜歌
 北浦 蟹網京焼
 草の月の清がての灯舟
 木曾 北馬京焼
 狹在所の門にけり北馬京焼
 下川 香煎餅
 牛叱る失り原田
 古川溪路山に渡り
 所の殺れを荷袋に
 吉崎 楚山山雲
 荷女に壁の奥並に
 玉井 千里伊勢
 日巧者の櫛買來たり京焼
 川崎 猿鬼京焼
 誤書着に阿多の友
 何多 鴨雲京焼
 煙家の前に
 徳日子府若山
 移り住みて夜毎に梅を摘み
 村田 蟬島元山
 荷打つ正に在るや
 香菜子 赤菜油
 荷打つ正に在るや
 水風京焼
 荷打つて扇を
 江にけり梅の雨
 女欠伸とて荷にけり梅の雨
 江にけり梅の雨
 落き愁へて心傷
 中村 紫光京焼
 御上津し街端にて荷女なり
 日見野子人京焼
 布鶴けは長かり
 丹下龍王人へり
 能力カタカタ
 中川想思京焼

[illegible]

農業雜誌

[illegible][illegible]

眼科
專門
江頭眼科醫院
京成明治町東馬場(電話〇四四番)
日曜祭日午後一時迄 江頭富雄

純良煉香油
L.O.ボマー
東京 平尾養平商店

大なる
くろかみ
黒髪
つややかな
美髪になるには



京城永樂町二丁目(前品陳列館裏門通)
院隨意
酒井婦人病院
電話 一八五
酒井一郎

よるづや足袋

西にも 東にも 唯一つ
本當にはける足袋
それは 努力の
賜もの

資本金 五萬圓
よるづや足袋株式會社

兒科 本院
附京城町門前病痔疾療院
電話 三四四番
本院 門前病痔疾療院
電話 三四四番
本院 門前病痔疾療院
電話 三四四番

[illegible]